



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I. 会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2018年4月16日】

第1298回

2017-2018年度 第35回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング

「奉仕の理想」

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

米山奨学生： シャルマ・ゴパル君

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

本日は、先週に引き続き、地区協議会の報告会の後半です。次年度の地区の各委員会の指針が多分に含まれているかと存じます。どうぞ、宜しくお願いたします。同じく先週に引き続き米山奨学生のシャルマ・ゴパル君が来訪されました。先週12日には熊本グリーンローターアクトクラブの4月の第一例会が開催されました。地区の米山記念奨学会では奨学生のローターアクトへの参加も奨励しております。ローターアクトクラブの会費や年間行事の登録料は、地区とカウンセラークラブで負担することと相成っております。(ロータリークラブの年間行事の登録料以外に食事代・旅費等もカウンセラークラブで負担することと相成っております。)ローターアクトクラブは食事や交通費が自己負担の部分もありますので、ローターアクトクラブの活動時間や自己費用等も勘案し

での参加をゴパル君に薦める次第です。12日のアクトの例会でもお知らせがございましたが、5月19日は熊本グリーンローターアクトクラブがホストを務める「留学生交流会」が開催されます。ゴパル君にも在学中の大学を通して案内が届いたとの事です。我がグリーンロータリークラブにおきましては先日の理事会にて会員の全員登録を決議しております。当日はルーテル学院大学の開催です。式典や参加協議のキンボール、そして大学学食での懇親会等、ローターアクトならでは交流会かと存じます。登録のみならず、交流会へのより多くの方々の実質参加をいただきたいと存じます。

幹事報告 (中島 三千代 幹事)

■ 例会変更・取止め

<例会変更>

【熊本北RC】

4月26日(木)の例会は、熊本北ローターアクトとの合同例会の為、同日20:00より大江公民館にて行います。

【熊本 '05福祉RC】

5月8日(火)の例会は、職場訪問例会の為、5月12日(土)に、エコパーク水俣バラ園にて行います。

卓話予定

4/23 「郵便局の話」熊本グリーンローターアクトの澤田裕美子さん、大村 直暉 君

4/30 祝日(振り替え休日)定款第8条第1節に基づき例会取り止め

5/7 「桜町・花畑地区のまちづくり」

熊本市都心活性推進課 技術主幹兼主査 永野 康裕 氏

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーンロータリー・クラブの例会日が出て、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

<例会取止め>

次の例会は、定款定款第8条第1節に基づき、取止めます。

- 【熊本北RC】 4月19日(木)
- 【熊本'05福祉RC】 5月1日(火)
- 【熊本'05福祉RC】 5月29日(火)

出席報告

(栗山義則クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会員総数	21名	出席率
4月16日	出席免除会員数	1名	55.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	11名	
4月2日	前回の出席会員数	13名	85.00%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	17名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・3/31 熊本城東RC創立30周年式典 大友君、仙波君 ・4/8 地区・研修協議会 江上君、本田君 			

委員会報告

「ロータリーの友 4月号」の内容紹介
報告者：クラブ広報副委員長 江上泰弘 会

スマイル

(仙波洋八クラブ管理運営委員(スマイル担当長))

●河野 景治 君、中島三千代 君
十時義七郎 君、荒木 一之 君
①「本日は、クラブ協議会の後半の部の発表です。担当の会員の皆様、宜しくお願ひします。」
②「5月19日(土)は、熊本グリーンローターアクトがホストを務める留学生交流会です。米山奨学生のゴバル君も出席されます。会員の皆様も宜しく申し上げます。」
●河島 一夫 君
「熊本地震から丁度2年目となりました。会員の皆様におかれましては、元に完全にも

どられましたでしょうか。生きてい間は、この4月14日、16日は忘れられない日となつてしまいました。皆様ご健勝にてお過ごし下さい。」

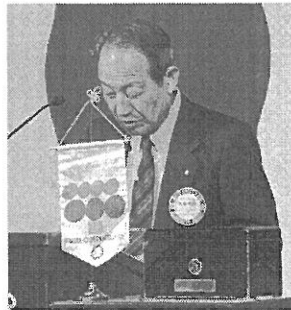
3. 例会プログラム

地区・研修協議会報告

卓話者：

- ①会員増強：大友利行会員
- ②職業奉仕：山下佳介会員
- ③社会奉仕：田中純司会員
- ④国際奉仕：荒木一之会員
- ⑤青少年奉仕：中島三千代会員
- ⑥ロータリー財団：江上泰弘会員
- ⑦米山奨学：河野景治会員

会員増強部門 大友利行会員



2018~2019年度
第2720 地区
会員増強部門

部門長

硯川昭一(熊本江南)

副部門長 大庭由樹(熊本江南)

委員長 大庭由樹(熊本江南)

副委員長 佐土原護(熊本江南)

新会員研修委員長 龍 義則(熊本中央)

副委員長 平野隆三(人吉中央)

以下 委員3人づつで構成されています。

会員増強は、クラブ運営の活動化、その手段でロータリー活動の発展の基盤です。

その為には、会員1人1人が「会員増強」を意識し、ロータリーの歴史、ロータリーの目的、ロータリーの良さや楽しさを認識すると共に多くの人に熱く語る事がなければなりません。それによって、クラブは活性化し、若い会員もベテラン会員も一体となって多様性あるクラブ、独自性と個性あるクラブとなって、意義ある奉仕活動につながってゆくとおもわれます。1月集計で熊本RCは14名増強、7名増強が熊本中央RC、熊本東南RC、6名増強がくにさきRC、大分1985RC

1. 新会員を増やすには

- ・会長がスローガンを掲げ、目標を明確に宣言する・例会を充実する。
- ・新年度までに職業分類表を見直して、女性の職種を加える。
- ・定期的に進捗状況を確認する。
- ・年度を超えて継続的に取り組むための戦略計画委員会を作る。

2. 会員の維持（会員減少の要因）

- ・ロータリーの情報不足。認識不足（ロータリーの魅力が分からない）
- ・ベテランのロータリアンの熱意減少。
- ・炉辺会合不足。
- ・会員増強は誰かがやってくれるという意欲不足。

その他新会員には

- ・新会員入会式に工夫を凝らして、思い出深いものとする。
- ・新会員には十分なオリエンテーションをする。
- ・新会員に、すぐ役割を与え活動に参加して頂く。

既存会員には

- ・入会3年未満の会員に勉強会を実施する。
- ・ベテラン会員の積極的なサポート

以上が提案されました。

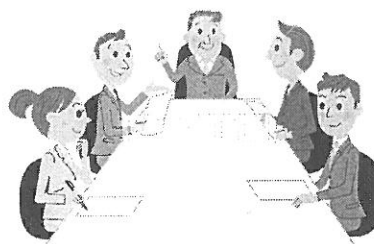


photo.jp - 7159196

職業奉仕部門 山下佳介会員



職業奉仕部門は部門長を倉田榮喜氏のもと、「職業奉仕を深めて実践する」を課題として活動していきます。

[地区の行事]

9月29日（土）職業奉仕研修セミナー（熊本の「パレア」予定）

出席対象者：新会員、若手会員、参加希望者

12月2日（日）職業奉仕活動報告大会（場所未定）

職業奉仕に顕著な講演者に依頼予定

出席対象者：会長、幹事、参加希望者

社会・国際奉仕部門(社会奉仕委員会) 田中純司会員



2018～2019 年度国際ロータリー第2720 地区の「地区研修・協議会」出席の報告をいたします。

全体会議は10 時から行われ、午後からの部門別研修・協議会が2 時過ぎから開催され、私は社会・国際奉仕部門(社会奉仕委員会)に出席しました。

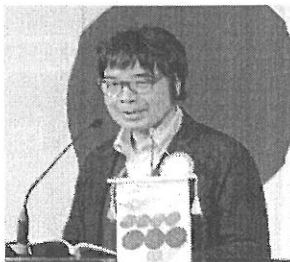
社会・国際奉仕部門(社会奉仕委員会)は山角智英部門長を中心に行われ、2018～2019 年度の地区スローガン「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」に基づき、社会奉仕活動の役に立てるよう活動しようという話から始まりました。

2017～2018 年度に実施された「社会奉仕についてのアンケート」の中から、各クラブで実施している奉仕事業の発表を中心に行われ、地区補助金を使った奉仕活動を進めてほしいとの事でした。

各クラブの奉仕活動の具体的な紹介があり、今後の奉仕活動において、大変参考になりました。我が熊本グリーンロータリークラブの「いいこと応援プロジェクト」も他クラブからの関心が大きく、内容の説明を行ってきました。

国際奉仕委員会は別会場で行われましたが、グローバル補助金・地区補助金の利用について検討すれば、奉仕活動の幅がさらに広がるのではないかと思います。

国際奉仕：荒木一之会員



大分のホルトホールにての国際奉仕委員会に出席いたしました。国際奉仕部門長は杵築ロータリークラブの秋吉実氏でした。

まず各クラブのアンケート調査の報告があり国際交流を実施しているクラブは熊本15クラブ大分14クラブとの事でした。なかでも国際奉仕活動が活発な宇佐ロータリークラブの米沢様より発表がありました。いままでオーストラリア、台湾、フィリピンのロータリークラブと交流がありその中でフィリピンのスービックロータリークラブと実施した活動で産婦人科を開いた日本人女性を援助したとの事です。宇佐ロータリークラブの会長がTVの情熱大陸という番組を見て日本人女性が一人で頑張っているのを見てロータリー財団からの寄付と宇佐クラブからの寄付で救急車を送ったとの事でした。

おっしゃっていたので印象的なのは現地にいて活動している日本人を受け入れ口として援助した方が現地の国に伝わるとの事でした。

国際奉仕実施のクラブのお話は非常に参考になりました。

青少年奉仕：中島三千代会員



青少年奉仕部門の次年度地区重点項目は下記の通り

1. 部門内各委員会（ローターアクト、インターアクト、ライラ、青少年交換）相互連携強化
青少年奉仕委員会（新設）の機能化
2. ローターアクト、インターアクトの会員増強
提唱クラブの支援強化を図り、ローターアクト、インターアクトの会員増強を積極的に支援する。さらに複数クラブ共同提唱による新RAC、IAC設立の検討
3. ライラへの意義の徹底と参加クラブ数の増加、高校生ライラの実施
4. 青少年交換事業の充実

短期交換の継続：台湾（RI第3510地区）に加えてオーストラリアとの青少年交換を開始、事業の継続性を確立する。

長期交換の実行：念願の夢であった1年間の長期交換を実施します
インターアクト海外研修事業（RI第3480地区・台湾）の継続実施。

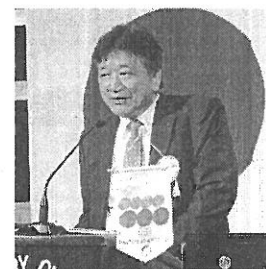
5. 他部門との連携強化

米山奨学会：米山奨学生をローターアクトに迎えることにより、奨学生へはロータリーの中核的価値観をローターアクトには国際理解を促す機会とする。

学友会：部門内の研修参加者をすべて学友対象者と捉え、ロータリー家族の拡大に寄与する。

6. 他地区との情報交換の促進

ロータリー財団：江上泰弘会員



次年度ガバナーの方針（クラブへの具体的取り組み依頼）

- 1) グローバル補助金を活用した国際奉仕プロジェクトの実施を国際奉仕部門と連携して立案し、実行して下さい
- 2) 年次寄付金への寄付額一人当150ドルを目指して下さい。
- 3) ポリオ撲滅への募金活動の実施と寄付の推進。（ポリオプラス寄付一人当30ドル）
- 4) ロータリー平和フェロー事業へのアプローチと平和フェローへの候補者の発掘を。

2016～2017 年度の財団への寄付実績

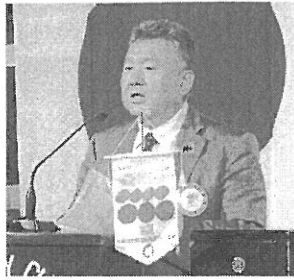
地区各クラブ一人当りの寄付額

- ・ 50ドル未満のクラブ数 12クラブ / ・ 100ドル未満 24 / ・ 150ドル未満 21
- ・ 150ドル以上 / ・ 200ドル以上 9

米山奨学：河野景治会員

【米山記念奨学会委員会】

米山奨学事業の目的、意義、現況についてクラブに情報を提供し、会員の理解を深めることによって事業を推進するため、米山奨学寄付委員会・米山奨学選考委員会、米山学友委員会の三つの



委員会の調整、指導を行う。

【米山奨学寄付委員会】

米山記念奨学事業の意義と奨学生との交流の感動を学び伝える。日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体であり、極めて高い公益性で運営されている。ガバナー年度の奨学寄付目標額以上の達成を目指し、特別寄付により多くのメジャードナーや米山功労者の誕生など積極的な寄付活動の増進を奨励する。

【米山奨学選考委員会】

米山奨学生の募集・選考を要項により実施する。「世話クラブ・カウンセラー制度」により「交流」を目的とした奨学生受け入れのプログラムを実施し、奨学生・学友と会員との交流促進と広報を行ない、奨学事業の意義を具体的に実感できる機会を設ける。

【米山学友委員会】

米山学友（元米山記念奨学生）と現役奨学生によって組織された学友が、ロータリアンとの交流を深め、ロータリーの理想とする国際交流、親善および平和の創造と維持に貢献する事を目的として、活動する学友会運営のサポートをする。又、関係するロータリー地区との協力、連絡体制の強化と学友・奨学生とロータリアンとが相互に影響しあえる人間関係の構築が望ましい。

4. 閉会・点鐘

青少年保護について 知っておくべきこと



ロータリークラブは、若い世代のリーダーたちがスキルを磨き、地域社会で変化を起こし、世界中で平和を促進するための機会を提供します。

インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換などのプログラムでは、青少年が超我の奉仕の理念を学んでいます。

どのような青少年プログラムを立ち上げるのであっても、プログラムに関わる青少年の安全を守ることが何より大事です。

全員の責任

地区リーダーは青少年保護についてさまざまな研修を受けます。また、**ロータリー青少年保護の手引き**の内容をきちんと把握しています。その知識がかならずクラブにも伝えられるようにするために、ロータリーは双方向性のオンラインコースを開発しました。このコースを受講することで、クラブのリーダーも、ほかのクラブ会員も、青少年の安全を守るために必要な知識が学べます。

ラーニングセンターで、**Protecting Youth Program Participants (青少年プログラム参加者の保護)** の受講登録を行いましょう

青少年と関わるすべてのクラブリーダーにこのコースの受講をお勧めします。このコースでは以下が学べます。

- ▶ 国際ロータリーの青少年と接する際の行動規範に関する声明
- ▶ 虐待またはハラスメントの申し立てへの対応
- ▶ プログラム参加者のための安全な環境づくり
- ▶ プログラムボランティアの審査と研修
- ▶ 青少年の旅行の手配

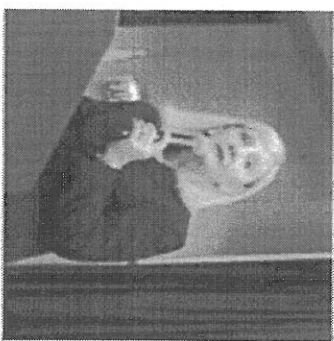
地域リーダーを ご存知ですか？

4つの重要分野でロータリーの実績を支える専門家をご紹介します。

ロータリー会員は才能も熱意もある人ばかりですが、どんなに優秀なクラブや地区でも、目標達成のために助けを必要とすることがあります。そういう時に頼りになるのがロータリーの地域リーダーです。RI会長や管理委員長に任命される地域リーダーは、その豊富なスキルやロータリーでの経験を生かして、クラブや地区を4つの分野で支援します。

ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)

コミュニケーション計画を立てないといけないのに何をどうすればいいのか分からない、という時は、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) の出張です。RPICは広域を担当することが多いため、エリザベス・ウソビツツ



さんのようなRPICは、大人数の参加者を対象にロータリーの広報活動に関するあらゆる側面を教える研修を行う際にはウエビナーを用います。「世界を変える行動人」公共イメージキャンペーンについてウソビツツさんは第30・31ゾーンのリーダーたちを対象にウエビナーを開催しましたが、このことから地区大会でソーシャルメディアについて話して

ほしいと講演の依頼を受けました。その経験にインスピレーションを受けた彼女は、ロータリーのプログラム・サービスセンターのリソースやソーシャルメディアの活用法、ビジュアル・ストーリーテリングについて、地区リーダーに四半期ごとのニュースレターを発信するようになりました。現在、クラブや地区からの意見を取り込みながら、コミュニケーション計画のテンプレート

「こうしたコラボレーションによって、誰もがより優れたリーダーでロータリーの代弁者となるのです」とウソビツツさんは言います。「ロータリー会員が目的意識と主体性を取ることができるようにすることが、私の仕事の中で最もやりがいのある仕事です」

ロータリーコーディネーター (RC)

RCは会員を惹きつけて維持するための実績のある、実践的な戦略を教えてください。また、戦略計画の立案に取り掛かる手伝いもしていただけます。第21Bゾーンと第27ゾーンの一部を担当するジェリー・ミュニズさんは、衛星クラブなど、クラブ強化のための柔軟性を高める期間についてよく会員から質問があると言います。「クラブや地区のリーダーは選択肢を検討して新しい方向性へ一歩踏み出そうとしています」とミュニズさん。「新しい構成を取り入れることに成功したクラブがストーリーを共有してくれると、ほかのクラブにとって非常に参考になります」

ロータリー財団 地域コーディネーター (RRFC) 補助金プロジェクトの立案や管理など、ロータリー財団に関することで相談したいことがあれば、RRFCに聞きましょう。第24ゾーン東部のカレン・オークスさんは、グローバル補助金プロジェクトでパートナークラブを探す地区リーダーのお手伝いをしてきました。プロジェクトを持続可能なものにするために、しばしば意見や感想を伝えていきます。また、年次基金、ボリオプラズ、ロータリー平和センターのための寄付目標額達成についても、RRFCはクラブや地区に協力しています。

恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA)

財団への高額寄付を強化したいとお考えなら、EMGAが相談に乗ってくれます。大口寄付の獲得や、恒久基金や大口寄付の小委員会の設立、Million Dollar Dinner (100万ドルダイナー) などの寄付推進イベントの計画に力を貸してくれます。第4ゾーンと第6Aゾーンを担当するアショク・バンジツニさんが手配したクラブレベル (マレーシア) での財団晩餐会には、300名の大口寄付者とパートナー・クラブ・ソサエティ会員が列席しました。

助けになってくれる地域リーダーを公式名簿で探しましょう。